

2017 年医療講演会報告

10月1日の日曜日午後、上大岡のウィリング横浜において のぞみ会神奈川支部の医療講演会が開催されました。

役員を含めると130人近い参加者となり、タイトル「変形性股関節症に伴う腰椎、膝関節への負担（疾患と治療）」に対する関心の高さを感じました。

講師の逸見範幸先生（昭和大学横浜市北部病院）は股関節症の専門医でいらっしゃいますが、腰椎、膝関節の手術もされる方なので、股関節症だと腰椎、膝関節に負担がかかり痛みや変形などの症状を引き起こすこと、また治療法についても詳しく説明してくださいました。

軽症の場合は足底板や、薬、リハビリなどで症状の改善を図りますが、悪化した場合の治療は手術になるということです。

腰椎、膝関節の手術については実際の患者さんのレントゲン映像を元に大変分かりやすく解説して頂きました。

「腰椎、膝関節の痛みや変形がひどくならないうちは股関節だけの手術ですむが、進行すると股関節だけでなく腰、膝の手術をしなければならない場合もある」という先生の言葉は、未手術の方にとって手術を受ける時期を考える一つの目安になるのではないのでしょうか？

そして腰も膝も（股関節も）日頃から歩く時も座る時なるべく正しい姿勢を保つよう心がけること、そのためにも筋トレ、ストレッチなど日々の努力が大切だと先生はおっしゃいました。

漠然と分かっていたつもりだった「股関節が及ぼす腰、膝へ影響」が講演を聞いてクリアになり、参加した方々から「色々学ぶことが多かった」「次は膝、腰も含めたりハビリ講習会を」などの感想を頂きました。

なお会場で撮影した講演会のDVDを会員に貸し出ししています。

是非ご利用ください。問い合わせは役員まで。

